

メイン会場(小ホール：450名)	サブ会場(4F、第3・4集会室：201名)	第1集会室(4F：90名)	第2集会室(4F：111名)	601会議室(6F：78名)	602会議室(6F：90名)	603会議室(6F：90名)	604会議室(6F：78名)
------------------	-----------------------	---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

受付開始：8：30

					一般演題 9:00-10:30 ○夫婦のコミュニケーションへの介入手段としての知能検査 (竹下柊・吉川悟) ○カップルの治療的アセスメントで夫婦の相互作用を理解する (小倉菜穂子・中村紀子) ○不妊治療により葛藤的になった夫婦にカップルセラピーを実施した一事例 ー不妊治療領域における家族療法の有用性についてー (石田真央) 座長：北島歩美		一般演題 9:00-10:30 ○応用行動分析の枠組みを母と共有したことで、母子関係が変化し子どもの粗暴行為がなくなった事例 (藤枝周平・宋大光) ○知的障害の成人男性へのリフレームと治療システムの活用で母子の相互作用が変化した事例 (服部智花・宋大光) ○面接構造の変更に関する一考察 母子同席面接を導入して改善した不登校生徒の事例から (赤津玲子) 座長：森野百合子		一般演題 9:00-10:00 ○「昨日の夜ご飯はなんですか？」と支援者に問い続ける 難病患者への支援 (水野愛梨・吉川悟) ○心配事を訴え続ける母親との面接過程 (廣橋諒一・吉川悟) 座長：岡本吉生			
大会シンポジウム 10:10-12:10 さまざまな領域における家族療法の活用シンポジスト (福山和女・生島造・後藤雅博) 司会 (市橋香代)			ミニワークショップ 10:10-12:10 複数面接の基本 ～関係をみる、関係と関わる～ 講師 (大平厚)			自主シンポジウム 10:10-12:10 ラップアラウンドをとおした現場の対応と気づき- 家族支援と当事者主体 (久保樹里ら)			事例検討 10:10-11:10 痛みと家族の悩みを抱え 来談した事例 (岩田尚大・村上雅彦) 座長：児島達美			
										会務報告会 12:15-13:15		
講演 14:00-15:00 マイケル・ホワイトの詩学 隠喩と換喩 講師 (小森康永) 司会 (坂本真佐哉)			ミニワークショップ 13:30-15:30 必要性から考える「ジョイニング」入門 講師 (田中智之)			自主シンポジウム 13:30-15:30 メディカルファミリーセラピー 実践入門-医療者と家族療法家を つなぐ支援とは (宮本侑達ら)					スーパービジョン・セッション 13:30-15:00 複数のシステムに変化が生じる中で 生徒に対応した一事例 (渡邊整・大平厚) スーパーヴァイザー：金丸慎美	
講演 15:45-17:15 「患者カルテ」の理論と実践- ナラティブ、コラポレイティブ、 オープンダイアローグの展開 講師 (野村直樹)			ミニワークショップ 15:45-17:45 ヤングケアラーへの支援を考える ー精神疾患のある親と暮らす 子どもを中心にしてー 講師 (長沼葉月)			自主シンポジウム 15:45-17:45 クリニックにおける 受付スタッフの重要性-医療機関全 体の治療力向上を目指して- (宋大光ら)			自主シンポジウム 15:45-17:45 グループスーパーヴィジョン における均一性と多様性 ー内省的効果と協働的効果 (渡辺俊之ら)		自主シンポジウム 15:45-17:45 学校職員それぞれの本音を ぶつけ合おう ～ずれの明確化から 組織連携を考える～ (宮戸和哉ら)	
								事例検討 15:15-16:15 家族面接における対話を促す 非言語的関わり： 治療者の姿勢と呼吸の調整を通して (尾形広行) 座長：吉川悟		スーパービジョン・セッション 15:45-17:15 発達障害の家族への関わり- 家族システムと病院システムの間で - (渡邊優江) スーパーヴァイザー：中村伸一		
								事例検討 16:30-17:30 相互作用の変化に向けて Here and Nowでの応対を 行った一事例 (大平厚・吉川悟) 座長：村上雅彦				
閉会式 17:50-18:15												